加古川市行政改革実行プラン
平成３０年度における取組状況 及び 令和元年度以降の新たな取組について

本市では、平成１３年度から５次にわたる行革緊急行動計画により行政改革に取り組み、職員数の削減や業務の民間委託などにより経費の削減に努めてまいりました。

しかしながら、少子高齢化が進み、財政状況が一層厳しくなることが見込まれる中、高度化・多様化する市民ニーズに的確に対応できるよう、経費削減、効率化だけでなく、質の高い公共サービスを提供し、市民満足度の向上を図るため、

①変化に対応するための職員力・組織力の向上

②次世代の負担軽減を図る経営基盤の構築

③市民の視点による行政サービスの推進

を基本理念とする「加古川市行政改革大綱」を平成２７年３月に策定しました。

そして、この「大綱」に基づき、「加古川市行政改革実行プラン」を平成２８年３月に策定し、「７つの重点事項」について、課題解決に取り組むこととしています。

平成３０年度における主な取組と進捗状況は、以下のとおりです。

Ⅰ　平成３０年度の主な取組

重点事項１　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築（取組実績Ｐ１～３、７項目）

- 平成３０年度から５年間の「中期採用計画」に基づき職員を採用するとともに、人事評価を実施し、評価結果を処遇（勤勉手当・昇給）に反映させました。1-1-1、1-1-3

重点事項２　職員のスキルアップと意識改革（取組実績Ｐ３～４、５項目）

- ＯＪＴ研修や職場倫理研修、女性活躍推進研修など様々な研修を実施し、職員のスキルアップに努めました。2-1-1、2-1-2、2-1-3、2-1-4
- 職員の法務能力向上のため、各部局における法的課題への対応にあたり中心的な役割を担う職員に対し、弁護士による法務研修を実施しました。2-1-5

重点事項３　財政計画の策定と自主財源の確保の強化（取組実績Ｐ５～８、１０項目）

- 駐車場事業特別会計について、累積欠損金が解消したことから、平成３０年度末をもって特別会計を廃止し、一般会計に統合しました。3-1-3
- ふるさと納税については、具体的な使途を掲げて寄附を募るとともに、記念品数を増やし、ＰＲを促進しました。3-3-1
  （歳入効果額：約１億４，７００万円）
- ホームページバナー、広報かこがわ、コミュニティバスのバス停、行政情報モニター等に広告掲載し、財源の確保に努めました。3-3-2（歳入効果額：約８００万円）

重点事項４　事務事業の見直し（取組実績Ｐ８～１７、２３項目）

- 市税及び国民健康保険料について、各種減免制度の課題を抽出したうえで見直しを行い、令和元年度から新たな減免制度を導入しました。4-1-13
  （歳入効果額：約６，３００万円）
- 上下水道使用料及びし尿処理手数料について、減免制度の一部を見直し、令和３年度にかけて段階的に廃止することとしました。4-1-14、4-1-21
  （歳入効果額：約１，８００万円）
- 電気、ガスとも現在の契約事業者と特約契約や大口供給契約を結ぶことにより大幅な料金削減を実現し、現時点では現在の契約事業者との契約を継続することとして結論付けました。4-3-7（歳出効果額：約９，０００万円）

重点事項５　市民サービスの向上（取組実績Ｐ１７～１９、５項目）

- 児童クラブについては、３小学校区９クラブを整備し、新たに２小学校区で高学年の受け入れを開始したことにより、予定していた施設の整備が完了し、全校全学年での受入体制が整いました。5-1-5
- 災害時における非常時優先業務の選定を行い、業務継続計画を策定しました。5-2-1

重点事項６　積極的な情報発信（取組実績Ｐ１９～２０、３項目）

- 市民の地域への誇りや愛着を高めるとともに、良好な都市イメージを向上させるため、映画上映イベントや市内外でのイベントブース出展を通じて、風景・食などの市の魅力を市内外に発信しました。6-1-1

重点事項７　市民参画による協働のまちづくりの実現（取組実績Ｐ２１、３項目）

- 町内会等に対し目的ごとに支出している各種補助金制度について、目的や金額、支出先等について情報を整理するとともに、令和２年度当初予算への反映に向け、各所管課と協議を行いました。7-1-3

Ⅱ　令和元年度以降の新たな取組

加古川市行政改革実行プランでは、目標を達成した取組は実行プランから除く一方で、新たに出てきた課題を追加することで、継続的に改革を進めていくこととしています。

このたび、実行プランの取組について、中長期的な目標を定めて継続的に取り組むべき「長期的取組」と、短期的な目標を定めて具体的な事業等を実施する「短期的取組」に整理するとともに、令和元年度以降の新たな取組を以下のとおり追加しました。

重点事項１　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築（新規取組Ｐ１、１項目）

- 「風通しの良い職場」を実現するため、全庁的に業務の効率化やコミュニケーションの活性化、働き方改革の推進に取り組み、個人のモチベーションや組織の活力の維持・向上を目指します。1-2-5

重点事項４　事務事業の見直し（新規取組Ｐ１～６、１０項目）

- 加古川まつりについて、年々増え続ける安全対策費や環境整備費を抑制し、周辺環境の変化にも対応した、市民や観光客がより楽しむことのできる事業に改善します。4-1-26
- 現場到着時間の短縮、救急隊の適正な労務管理を図るため、最適な救急体制について検討することにより、住民サービスの充実を図ります。4-1-29
- 低所得者に対する住まいのセーフティネットである市営住宅について、人口減少や高齢化などの見通しと施設の老朽化やバリアフリー化などの課題を踏まえながら、サービスの向上と財政負担の軽減の両立に向けた整備計画を定めるとともに、効果的な管理手法を検討します。4-3-9
- 市立図書館の今後のあり方について検討します。4-3-10

Ⅲ　進捗状況

平成３０年度における５６の課題項目の進捗状況は以下のとおり、「Ｆ：取組完了」「Ｓ：予定より進んでいる」「Ａ：予定通り進んでいる」を合計すると４２項目あり、全体の７５％が順調に進捗しています。「Ｂ：予定より遅れている」取組については、早急にスケジュールを見直し、目標達成に向け取組を進めます。

なお、取組が完了した８項目については、行政改革実行プランから除く一方、新たに出てきた課題１１項目を追加しました。令和元年度は、合計５９項目の取組を進めていきます。

表１　進捗状況一覧表

重点事項	項目数	進捗状況					追加項目
		F	S	A	B	－	
1　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築	7			3	4		1
2　職員のスキルアップと意識改革	5			5			
3　財政計画の策定と自主財源の確保の強化	10	1		8	1		
4　事務事業の見直し	23	6		10	7		10
5　市民サービスの向上	5	1		3	1		
6　積極的な情報発信	3			3			
7　市民参画による協働のまちづくりの実現	3			2	1		
合　計	56	8		34	14		11
割　合	%	14.0		61.0	25.0		

Ｆ …取組完了
Ｓ …予定より進んでいる。
Ａ …予定通り進んでいる。
Ｂ …予定より遅れている。
－…対象外